

学力向上に効果のある取組事例

玖珠町立塚脇小学校

小学校教科担任制の推進

取組の具体①

○理科については、一人の教諭ができるかぎり継続して4～6年生の授業を担当するようにしている。

- ①同学年での授業実施により、教科の専門性に基づいて、指導方法の工夫改善ができる。
- ②4～6年生の学習内容の系統性を考慮しながら授業を行うことができる。
- ③数年間のスパンで授業改善を図ることができ、ICT活用も前進した。



取組の具体②

○5～6年生の国語科、算数科においては、学級担任が交換授業を行っている。

○指導の統一化を図っている。

- ①国語科、算数科は授業時数の関係からタテ持ちができないが、核になる教員を決め学年によって指導に差異がでないよう(国語科では「漢字指導→音読→めあて提示」など)学習のルーティンを図っている。
- ②ルーティン化によって、異動などがあっても毎年同じ指導を行うことができ、児童も迷うことなく学習に取り組める。

